いこま

ご自由に
お取り下さい。

近畿大学奈良病院 広報誌

2021年6月発行 Vol.20

第5回 近大奈良病院フォトコンテスト 結果発表！（患者様受賞分 授賞式）

「踏まないで」

技術賞

第6回フォトコンテストも豪華景品を、
ご用意してますので皆様の応募心よりお待ちしております。

第6回フォトコンテスト締切日 **2021年6月30日（水）**

看護外来を開設しました

このたび当院では、**通院で療養をしている患者さんをサポートするために、看護外来を開設**しました。看護外来とは、専門的な知識や技術をもった看護師が、患者さんの病気に対する困りごとや、療養を支えるご家族の相談を行う外来です。ご自宅で安心して療養できるよう、医師や多職種と連携して支援を行います。

各分野の相談内容については、**外来の待ち合いにポスターが掲示**してありますのでご参照ください。**予約制になりますので、ご希望の場合は診療科の主治医または看護師へお声がけください。**

リンパ浮腫ケア看護外来	担当：がん看護専門看護師 **市村紀子**、医療リンパドレナージセラピスト **久保孝子**
がん性疼痛看護外来	担当：がん性疼痛看護認定看護師 **竹村孝代**
造血幹細胞移植看護外来	担当：幹細胞移植後長期フォローアップ研修修了看護師 **山村理沙**
ストーマ看護外来／創傷ケア看護外来	担当：皮膚･排泄ケア認定看護師／特定看護師（創傷管理） **池本志保**

（文責：専門・認定看護師会　庄司紀子）

CONTENTS

P1 第5回 近大奈良病院フォトコンテスト 結果発表！（患者様受賞分 授賞式）
看護外来を開設しました
P2 泌尿器科 接触式レーザー前立腺蒸散術（CVP）前立腺肥大症の新しいレーザー治療を開始しました！
P3 病院長紹介・看護部長紹介
P4 P5 新教授紹介
P6 部署紹介 リハビリテーション部
P7 栄養だより・薬剤コラム
P8 カルガモ親子のお引越し！！・第6回フォトコンテスト開催のご案内

泌尿器科

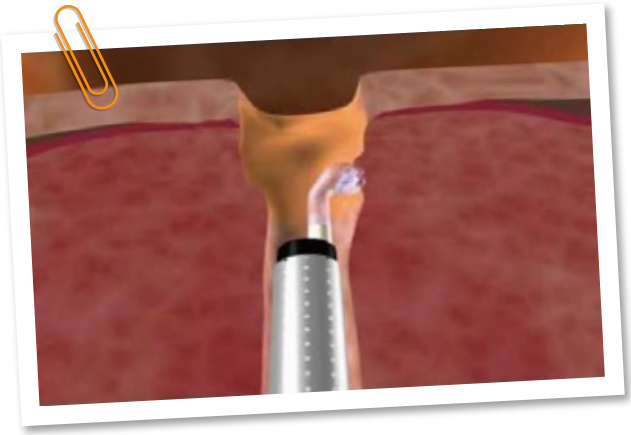
接触式レーザー前立腺蒸散術（CVP）

前立腺肥大症の新しいレーザー治療を開始しました！

泌尿器科　喜馬 啓介

前立腺肥大症に対する標準的な外科的治療法は経尿道的前立腺切除術ですが、術中、術後の出血や低ナトリウム血症の発生が問題とされてきました。

接触式レーザー前立腺蒸散術は、前立腺肥大症の新しいレーザー治療で、CVP（シー・ブイ・ピー）という術式名称で呼ばれています。当科では2021年1月よりCVPを開始しました。前立腺組織に光ファイバーを直接接触させて、レーザー光を照射することで、組織を気化・蒸散し、肥大した前立腺組織を急速に消失させる**最新で低侵襲の手術方法**です。従来の経尿道的前立腺肥大症手術と同等の効果を見込め、細い内視鏡を使用して小さいアクションで手術が可能であるため、身体への負担が軽減できます。また、CVPのレーザーは波長特性により出血が少なく、サラサラ薬（抗血栓薬）をのんでいても内服を中止することなく手術が可能なため、手術前後の血栓症リスクを低減できます。**手術時間は60～90分、入院期間は約5～7日間**で、**早期の社会復帰が可能**です。



病院長あいさつ

病院長
村木 正人

本年４月から6代目病院長を拝命しました。私を始め、副病院長、看護部長、事務など新体制になっています。ご存じの通り、当院は矢田丘陵の中腹に位置し、眼下には竜田川、目の前には生駒山がみえる環境の良い立地条件で、1999年10月に開院しました。奈良県で3番目の3次救命救急センターとして地域の救命救急医療に貢献し、2004年には災害拠点病院、2008年からは地域がん診療連携拠点病院として、地域の基幹病院としての役割を担ってきました。私達は、よりいっそう大学病院としての先進医療の提供、人に愛される医療人の教育・育成に貢献します。特に人と人（患者と医療従事者）の心のつながりも大事にしながら、地域医療に貢献していきます。また、昨年度からは患者様の入退院支援をより効率的に行えるように、patient flow managementの導入を進めています。当院は透明性の高い医療と情報を提供しています。この為、昨年夏のコロナウイルス院内感染では、全てを隠さず公表したためにニュースにも大きく取り上げられ、かえって必要以上に皆様方にも多大なご心配をおかけしましたことを深くお詫び致します。ただし、これからも透明性を守ったまま、医療スタッフの安全性を確保し安心して患者様に接することが出来るよう職員全員がチーム一丸となって未来の医療を切り拓き、最良な医療を皆様に提供して参ります。

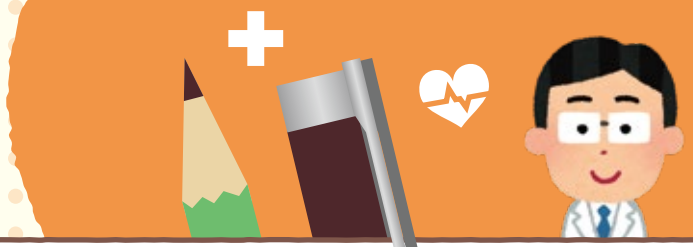
看護部長あいさつ

「心温かい看護」の実践を目指しています。

看護部長
赤尾 幸恵

豊かな自然と歴史と未来が融合したまち生駒に近畿大学奈良病院は、平成11年10月に開院、地域に貢献できるよう医療を提供しております。私は、令和3年4月に看護部長として着任いたしました。

皆さんは、昨年からコロナ感染症に窮屈で不安な毎日を過ごされておられると思います。病院受診ですら躊躇されるかと思いますが、十分な感染対策を行い診療しております。職員一同、地域の医療機関と協力し皆さんの不安や生活を支えられるよう努力しております。我慢することなく、早めに受診して頂きたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

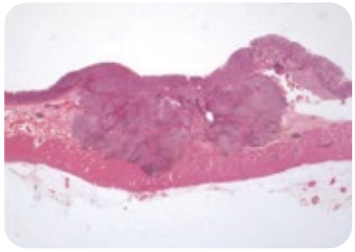


新教

病理診断科　若狭 朋子 先生

令和3年4月より病理診断科部長を拝命いたしました若狭 朋子です。病理診断科は患者様から採取した組織より標本を作製し、主に顕微鏡を用いて細胞の形を観察して診断を行います。病理診断科は2008年に標榜科となり、病院の看板にその存在を提示することが可能となりました。病理診断科を持つ病院は少なく、奈良県で常勤病理医が勤務する病院は7病院にとどまります。多くの病院は院外、あるいは非常勤病理医に診断をしていることから、結果が出るまでに時間がかかります。しかし当院では常勤病理医2名が勤務しておりますので、病理診断をより早くお知らせする事ができます。

奈良県西和地区の医療の質の向上に尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。



血液内科　花本 仁 先生

この度2021年4月から近畿大学奈良病院 血液内科 教授に就任させていただきました。私は、2004年に近畿大学医学部附属病院から異動になりそれ以降近畿大学奈良病院で勤務しております。慣れ親しんだ病院であり、これまで以上に患者さんに役立つ仕事をし、地域の血液内科患者のために努力していきたいと思います。

また、血液疾患の治療の進歩は早いので、最新の治療を患者さんへ送り届けるよう心掛けたいと思います。

私の治療の信念は、患者さんの治療のGoalを一緒に考え、その人にあった治療を選択しBESTの医療を届けられたらと思っております。

授紹介

消化器外科　木村 豊 先生

2021年4月に近大病院（狭山）から奈良病院にまいりました消化器外科の木村です。現在、2人に1人はがんを患うようになり、がんは国民病とも言えます。その中で、胃がん、大腸がん、肝臓がん、食道がんなどの消化器のがんは大きな割合を占めています。私は、これまでそういった消化器がんに対する腹腔鏡手術やロボット手術など傷の小さな低侵襲手術と化学療法（抗がん剤治療）を専門としてきました。

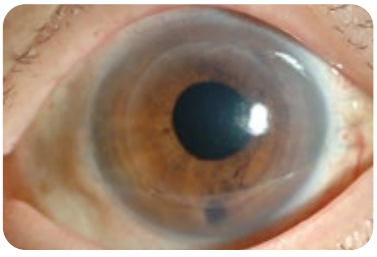
これからは奈良病院で、大学病院としての専門性の高い治療と生駒の医療機関の先生方と協力して行う地域医療をしっかりと行ってまいります。がんの進行度だけでなく、患者さんの年齢、体力、生活状況などを含めて総合的に診断して、適切に、迅速に、優しく治療しますので、安心してお任せください。

眼　　科　福田 昌彦 先生

本年4月から眼科の臨床教授に就任した福田 昌彦です。奈良病院には2019年7月から勤務しております。当科は5人のベテランの眼科医師を揃えて眼科のすべての分野で最新の診療、手術ができるように日々努力をしています。

白内障手術はおおよそ1ヶ月以内に手術できます。最近では希望者には1泊2日の入院で両眼同時手術もできるようにしています。角膜移植に関しては最新の角膜内皮移植術（DSAEK）を行っています。小児の斜視手術も行っています。緊急患者、緊急手術（全身麻酔）にも問題なく対応できます。

眼科疾患に関して気軽にご相談いただきたいと思います。



角膜内皮移植術後

部署紹介

リハビリテーション部

リハビリテーション部の取り組み

リハビリテーションは主に病気やケガによって生じた障がいに対して身体能力の向上や新たな動作の獲得を行うだけではなく「生活の質」を高めるためにおこないます。

リハビリテーション専門職としては

理学療法士（PT）　作業療法士（OT）　言語聴覚士（ST）

の3つの職種があります。

理学療法士 … 立ったり、歩いたりなどの基本的な動作能力の向上を目的とした練習

作業療法士 … 服を着替えることやお風呂への入り方などの応用的な動作の練習

言語聴覚士 … 聞く・話すだけではなく、食べ物を安全に食べるなどの摂食嚥下の練習

リハビリテーションではその専門職だけでなく、患者様を中心に医師・看護師など**たくさんの職種がチームを組んで**おこなっています。またご家族の支えや協力も大変重要な役割となります。

当部署は新入職のスタッフや大阪狭山市にある近畿大学病院からの人事交流による異動で**8名から15名へと増員**しました。

また今年度より当部署では**摂食嚥下リハビリテーションを開始**することとなりました。

摂食嚥下リハビリテーションでは発声練習や唾を飲み込んだりする練習、水分や食物を食べたりする練習の他にも医師、看護師、管理栄養士などと適切な食べ物の形態について検討します。また薬剤師とも薬の飲み方なども相談して、誤嚥性肺炎をおこさないように、安全な食べ方・飲み方の練習などをおこないます。

このように多職種で連携し、リハビリテーションを進めております。

（文責：西野 仁）

栄養だより

嚥下調整食について

高齢化に伴い、誤嚥性肺炎で亡くなる方が増加しています。誤嚥とは食物や唾液が気管に侵入することを指し、それが原因となって生じる肺炎を誤嚥性肺炎といいます。

★誤嚥の原因は？

70歳以上の肺炎患者のうち実に70％以上が誤嚥性肺炎となっています。また誤嚥性肺炎の原因の多くは脳血管疾患によるものですが、低栄養や認知症なども原因となります。義歯の合わない状態で食事の形態が適合していない場合や筋力低下、舌の動きが悪く呑み込めないなどの症状が原因で誤嚥を起こします。

70歳以上の誤嚥性肺炎患者の割合

参考：高齢化に伴い増加する疾患への対応について　厚生労働省

★嚥下調整食をご用意しております！

当院ではご入院中の嚥下機能が低下されている方向けに5食種の嚥下調整食をご用意しております。また、在宅でのお食事でお困りの方には外来で栄養指導を行うことが可能です。

当院の嚥下調整食　（例）嚥下ソフト食

- たんぱく質強化粥
- ハンバーグ　● 野菜の付け合わせ
- トマトとトウモロコシのサラダ
- ヨーグルト　● ポタージュスープ

食事の量が減ってきた、むせることが多くなったなどの症状が気になる方は受診の際に医師に栄養指導希望の旨をお伝えください。管理栄養士が症状に応じたアドバイスをさせていただきます。

（文責：栄養部　平田 幸一郎）

薬剤コラム

薬剤時事ネタシリーズ その4

～ ワクチンの接種間隔 ～

奈良県では4月から新型コロナワクチンの接種が始まりました。今回は、コロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔など、ワクチンの接種間隔について紹介します。

（文責：薬剤部　島谷 悠里）

● ワクチン間の接種間隔

これまで、ワクチンを接種する場合、間隔を空ける事が必要とされてきました。2020年10月1日、ワクチン接種のルールの改訂が行われ、これにより**注射の生ワクチンを除き、接種間隔の制限がなくなりました**。
注射の生ワクチン同士以外の組み合わせで、2種類以上のワクチンの同時接種が可能となりました。
注射の生ワクチン同士の接種間隔は、これまで通り27日必要です。

注射の生ワクチンには以下のようなものがあります。

- 麻疹・風疹ワクチン
- BCGワクチン
- 水痘ワクチン
- おたふくかぜワクチン

● 同種のワクチンの接種間隔

同種のワクチンの場合、ワクチン毎に決められた接種間隔を空け、接種を行います。コロナワクチンの場合、通常**1回目から3週間後に2回目の接種**を行います。

（例）コロナワクチンの場合

● コロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔

コロナワクチンと、その他のワクチンとは、必ず**2週間の接種間隔**を空けます。

近大奈良病院でも

カルガモ親子のお引越し!!

5月の終わり、朝8：00過ぎ。出勤途中の病院手前でふと見ると、地下1階救急外来の右奥から何やらひょこひょこ歩いてきます。んんっ・・・!!! お母さんを先頭に6羽の赤ちゃんのカルガモ親子の行進です。お母さんカルガモは迷いなく病院前の道路を横断し始めたので、私は出勤途中の車を止める勢いで追いかけます。すると道路の向こう側へたどり着いたお母さんカルガモは、ひょいっと道路縁石を乗り越え歩道に入り、赤ちゃん6羽が道路に取り残されてしまいました。えらいこっちゃ!!! しかし赤ちゃん6羽は、数メートル先にあった縁石の横穴をくぐり抜けて、難なくお母さんと合流。親子で駐車場の草むらへ入っていきました。

毎年、日本各地のカルガモ親子のお引越しのニュースを見ますが、奈良病院でも見ることができるとは。カルガモは河川や湖沼を引っ越して育児をするそうですが、竜田川にお引越しされたのでしょうか。私はすぐに上長へ報告し、来年度は院内で「カルガモ親子見守り隊」を結成して、安全なお引越しのサポートができれば…と考えたりしています。(笑)

(文責：看護部 がんセンター　市村紀子)

第6回

フォトコンテスト開催のご案内 PHOTO CONTEST

第6回フォトコンテストを下記の日程で開催中です。
1人2点までの応募とさせていただきます。今回もユーモア溢れる作品をお待ちしています。

QRコードから詳細をチェック！

1.応募期間　令和3年 6月30日(水) まで

2.応募資格　一般の方および当院教職員

募集要項の詳細はホームページに掲載しております。
皆様からのご応募お待ちしております。

第5回フォトコンテスト▶
最優秀賞作品
「帰宅時のブルームーン」

近畿大学 KINDAI UNIVERSITY
近畿大学奈良病院
〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1　TEL 0743-77-0880
E-mail:infonara@med.kindai.ac.jp　https://www.kindainara.com

発行日　令和3年6月
発行場所　近畿大学奈良病院
編集　広報委員会